

つくしだより



平成31年2月号

「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」

上映&シンポジウム in おおた

都連副会長 川崎 洋子

日時…2018年12月22日(土)

会場…東京工科大学

昼の部 シンポジウム…「当事者、

家族、医療者が語るおたの『夜

明け』

シンポジスト…

越智祥太(精神科医)

山田悠平(当事者)

川崎洋子(家族)

夜の部 講演…

兵頭晶子(歴史学研究者)

「病むとされる側から見た『監置』

と『精神病』

川崎はシンポジストとして参加し

ました。当日は小雨降る土曜日でし

たが、昼の部280名 夜の部69名と

350名ほどの参加がありました。

上映に関しての感想として、

・映画をからめてのシンポジウムが

大変よかった。当事者・家族といっ

しよになって医療・福祉も日本の精

神福祉を盛り上げていけたらと思う。

・自身の内なる偏見の目や差別の目

にそむけず、医療モデルにそまるこ

となく生活モデルで捉えていく視点

を再認識した。医療のあり方は国の

政治、経済に左右されるため、構造

にしっかりと目を向けていきたいと思

う。シンポジウムをお聞きして、夜

明け前の映像を多角的に理解できま

した。

・当事者の山田さんの声、ご家族の

川崎さんの声、精神科医の越智さん

の声、それぞれの声、本音が聞けて

大変有意義でした。この映画を見た

だけでは感じ得ない大切な物を3人

のお話しか感じる事ができました。

「何が幸せか不幸せかはいちがい

には言え

ないか

な。」と

いう山

田さん

の言葉

が印象

に残り

ました。

視点を

広げて

もらう

きっか

けにな



つてくれる映画です。越智さんの話

を聞いて、何度か映画を見直してみ

たいと感じました。医者の目線から

作られた映画でもあると感じました。

・家族会の者です。「夜明け前」は見

るのがこわかったのですが、理論整然

(?)でありがたかったです。やはり

り、言葉で語る、語るを聞くことが

私たちに必要不可欠です。

今回の上映

に関しては実

行委員会を立

ち上げまし

た。当事者、

家族、支援者、

学識者など多

様なメンバー

11人によって企画実施されました。

実行委員会は7月に始まり、開催

日までに6回開かれ、きめ細かく計

画実施に向けて検討してきました。

私たち実行委員はこれからも情報

を共有して、当事者、家族がこの大

田で普通に生活できるように、「大田

の夜明け」に向けて、活動を続けて

いきたいと考えています。



家族会訪問

蒼空会のみなさま ありがとうございます

都連副会長 本田 道子

ぜひ訪ねてみたい、と願っていた家族会がありました。それが「蒼空会」です。なぜ？

昨年の50周年行事のあれこれの中で先輩たちから「熊谷さん」という名前が飛び出してきていたのです。ぜひともまずはその「熊谷さん」にお会いしたかったのです。作業所もたくさん立ち上げて活躍中らしい、とてもつくし会理事の訪問を受け入れてくれたので、早速私を手をあげた、ということなのです。

クリスマススムードの街の中、清瀬市のけやきホールを訪れたのは暮れの12月11日火曜日の午後。

例会は年末ということもあり10人ほどのグループに分かれて今年1年間を振り返って語り合う、ということとで3グループにそれぞれ進行役と記録係がつかます。

家族の悩みはどこでも深刻で切実です。でもこうして話すことで共感と理解を得て語り手の方の表情が変化してゆく、安心してゆくことがわかります。

これが「家族会の原点」と納得できます。例会の終了は4時。その後役員会でした。現在のつくし会の活動について報告をし、その後熊谷さんからこの地で施設を立ち上げた

時の話を写真を見せていただきながらお伺いしました。

あつというまに時間がすぎ5時近くになりあわてて退室。みなさんはこの後役員会をなさるのです。「まだ5時だから」という熊谷さん。これが全て、とわかりました。ねばりつよい活動、決して中途半端にしない役員のみなさま、つくし会もがんばらなくちやと思います。ありがとうございます。みなさま。



かもめ会

「おしゃべり会」でおしゃべりしてきました

都連副会長 川崎 洋子

2018年12月15日(土) 中小企業会館
「おしゃべり会」

は、年数回開かれていてお茶とケーキがです。ラッキーな時に伺いました。この日の参加者には初代会長佐藤さんをはじめ椎木夫人、池田さん、庄田さんを入れて歴代



の会長が出席という他に類を見ない会合となりました。佐藤さんには夫人が同伴され、椎木夫人はご主人が亡くなられても出席されていて、この会へのみなさんの熱い思いが伝わってきます。

「おしゃべり会」ですから、皆さん気軽に困っていることなどを話されます。どこでも同じ悩みが、親亡き後のことですね。特に親も子も高齢になっているいま、まさに近々の課題となっています。

みなさんのお話を伺っていて、感じたことは、同居されている方や入院中の方が多いということです。ひとり暮らしは無理ともしっかり、退院後のことが心配で入院中だったりしています。でもいつかは一人で生きていかなくてはなりません。精神障害者が地域生活で生きる仕組みは徐々にできています。

ホームヘルパー、訪問看護は多くの人が使っています。確かに最初は難しいかもしれませんが、慣れていくことが必要です。

階段を一步一步上がるように、必要なサービスタにつながるようにしておくことが親の役割かなと思いました。





あじさい会（小金井市）を訪問して

都連会長 眞壁 博美

1月10日（木）午後2時から4時半まで、小金井駅から徒歩7分ぐらゐの小金井市役所の道路を挟んで真向かいにある「前原暫定集会施設」で開催された新年会におじゃましました。参加者は、全部で24名。来賓に、市長・西岡真一郎氏、市議会厚生文教委員長・水上洋志氏、市議会議員・坂井えつ子氏、自立生活支援課主事・萩野裕人氏、地域生活支援センターそら施設長・赤濱高之氏の参加がありました。

来賓挨拶の後は、用意した歌集にあるお正月らしい歌を3曲ほど全員で歌い、和やかな雰囲気になったところで、会員ひとりひとりの近況報告が話されました。親が高齢化して、当事者の世話をするのが大変になっている問題や親亡き後を心配する声がたくさん出されました。特技のある方は、シャンソン等を披露したり、「食べ物クイズ」を用意した方は、クイズの正解が多い人から賞品を渡していました。「あじさいかい」にちなんで、「あ」の袋の賞品は「アボカド」、「じ」の袋は、「ジャガイモ」が入っていました。いろいろな工夫があつて楽しい新年会でした。私が素晴らしいと思ったのは、市長が公務で席を外さなければならぬギリギリの

時間まで新年会に参加し、皆さんの近況報告に耳を傾けてくださったことでした。

あじさい会の皆様のこれまでの地道な努力の賜です。また、「小金井市障害者差別解消条例」が、昨年10月に施行されましたが、今、「小金井市障害者差別解消条例の子ども向けパンフレット作成（小学5年生全員対象）」に取り組んでいるという報告がされました。このことは、東京全体に広めていきたい取り組みだと思いました。あじさい会の皆様、ありがとうございました。



西ブロック会議に参加して

都連理事 鬼頭 博子

1月19日（土）13時半から16時まで、「品川きゅりあん」にて平成30年度第2回西ブロック会議が開催されました。参加家族会は品川かもめ会、新宿フレンズ、世田谷さくら会、大田区つばさ会、杉並家族会、豊島家族会、あかね会、渋谷太陽の会、中野たんぽぽの会の25名（9家族会）。

【1部】

① 都連の動きと今年の活動予定報告

* 30年度同様、交通運賃とマル障・福祉手当（現在1級のみ）に関する要望を、都や区市町村の議員宛てに提出する活動を継続。精神

障害者の交通費割引運動の報告

* すでに実施の越前鉄道と福井鉄道を例に、「JRなど運賃割引推進ニュース」をもとに、報告と説明がありました。航空運賃については、すでにJAL・ANAとその系列航空会社は割引制度を取り入れています。東京都の場合ほとんどのバス、都営交通やモノレールは半額ですが、JRが割引に応じないので、他の私鉄もJRの決定を「様子見」状態です。

* 心身障害者福祉手当に関しては各地域の詳細を把握し、31年度も引き続き要望活動を継続していきます。

【2部】

各家族会の自己紹介と活動報告。

どこの家族会も、役員探し、役員不足、会員減少、中には家族会そのものがなくなるといった危機的な現状を抱えていましたが、それぞれの会に個性があり、活動の特色も様々で、少ない人数でも工夫を凝らした活動内容に「希望」が見えました。和やかな中にも時に熱っぽく、話題は多岐にわたり、あつという間の3時間でした。

地域を超えた家族会の交流会は貴重な情報共有の場でもあります。これからもっと回数を増やして続けていけると良いと思います。



公益信託

池田輝子記念精神障害者福祉基金

(運営委員)都連理事 安藤 万寿代

この公益信託は、池田輝子様により精神障害者及び支援者に有効に役立てたいとの思いから、平成3年9月に設定された福祉基金です。

1、助成の目的

東京都内に所属する精神障害者のための福祉施設及び事業に対して助成を行い、社会福祉の向上に寄与することを目的としています。

2、助成対象

東京都内に設置されている障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業、その他関連する自主事業を行う施設等(除く公立施設)で、施設における授産や教育等の処遇向上に資する諸設備・物品の購入や生活環境改善のため施設改修等に対象とされます。(各種連絡会・株式会社は対象外です)

3、助成件数及び金額

助成金額一件あたり10万円〜100万円程度です。(助成金総額は1000万円です。)

4、募集期間

2019年2月〜3月31日
運営委員会は毎年6月に都庁で開催され、代理はできません。取り扱いはい三井住友信託銀行です。



講演会のお知らせ

- ☆2/24(日)通過型グループホーム実践の中で、今これが課題!と思っている事
講師:いちごLiving施設長・臨床心理士 山口さとる氏 会場:荏原保健センター 2F多目的室
主催:年輪の会(品川区精神障害者当事者会) ☎03-5875-0433
- ☆3/1(金)再発せずに地域で過ごせる日々のために〜長年関わっているご家族、若いご家族、それぞれに大切なこと 講師:精神科医 白石弘己氏 主催:杉並家族会 ☎090-4535-9663
会場:高円寺障害者交流館 1F 定員60名・予約不要
- ☆3/3(日)シンポジウム 当事者と家族が語る「地域参加」シンポジスト:堀合悠一朗氏(シャロームの家)、佐藤諦吉氏(品川区年輪の会)、庄田洋氏(品川区かもめ会) コーディネーター:堀利和氏(風車の会) 会場:荏原第三区民集会所第一集會室 主催:風車の会 ☎090-9000-6556
- ☆3/9(土)移送から居場所作りに至った思い 主催:新宿フレンズ ☎03-3987-9788
講師:東京パトロール株式会社 代表取締役 生田清子氏 会場:新宿区立障害者福祉センター

☆ 賛助会費 ☆
安田 學 様
2000円
ありがとうございます。

※参加申込み・お問合せは、主催者までお願いします。

編集後記

たそがれ時の空の美しさといったら。どんなに寒い時だろうと歩みを止めて思わず見入ってしまう。

この時間の30分はいつも神様に感謝、といった気分になる。

片時も目を離すことなどできやしない。青い空に茜の色が混じりはじめ群青の色を深め出す。ドラマが始まる。風もつられて動き出す。

すっかり暮れきって気がつくとお月さまが顔を出していたり星が瞬きはじめていたりすると。

今日一日が辛くて「生きてゆくてしんどい」と思った日でもこの時に出会えるとそれまでのしんどさが一気に吹き飛ぶ。

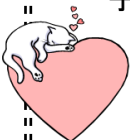
あゝ生きている、と思える瞬間。

冬の冷気の中のこのひとときがたまらなく好き。小さな幸せの中の大きなよろこび。

またもう少し頑張ってみようかな、と思ったりもして。

誰もが平等に幸せになれる大自然の中のドラマはなかなかにあなどれない。春とともに大地と空の色がやさしさを増します。南の風よ 早くこい。

都連副会長 本田 道子



つくしだよりは赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。